

【教育目標】
人間尊重
自己実現
心身の健康

小園中だより

TEL.06(6493)0280 <http://cen-web/school/j22/index.html>

令和2年度
7月1日
(水)
第4号

新型コロナウイルス感染拡大により、世界中で多くの方が亡くなり、今なお入院、治療されている方がおられます。ここに謹んでお悔やみとお見舞い申し上げます。梅雨空が続いておりますが、夏、7月になりました。兵庫県の緊急事態宣言が5月21日に解除されてから1カ月以上が過ぎ、国内では、県をまたいで移動制限が解除されました。様々なお店や施設の自粛も解除し、経済活動もスポーツも再開されています。しかし、感染予防に努めていくことで、第2波、第3波の感染拡大を防いでいかなければなりません。アフターコロナの新しい生活様式といった話をよく耳にします。さらに熱中症対策ということで、屋外では人と一定の距離を保ちつつ、マスクを付けない生活が推奨されています。みんなで協力していきましょう。



本校では、6月15日(月)から通常の授業がスタートしました。部活動も活動制限はありますが、再開されています。各教室で生徒たちは、とても授業に集中できています。とても楽しそうに仲間と共に学習に取り組んでいます。毎日のように、教育委員会から生徒たちの新しい学校生活の様子を観察にこられますが、生徒たちの頑張る姿にとっても感激されております。15日には、今年度の初めての朝礼がありました。感染対策で全生徒を集めることができませんでしたので、放送による朝礼でした。私は、生徒たちに次の内容の話をしました。「やっとクラス全員が教室にそろいました。1学期のはじめです。・・・学校でも新しい生活様式で過ごしましょう。・・・マスク着用・手洗い・換気、そして、特に人との距離を取る事(ソーシャルディスタンス)が求められています。学校生活でも同じです。」「一部の心ない人は、感染した人をあたかも新型コロナの加害者にしています。・・・新型コロナの被害者なのです。悪いのはコロナウイルスであって、感染者の方ではありませんね。・・・どこでも起こりうることです。・・・もし感染者(被害者)が、ここ小園中学校から出てたとしても、その人をせめたり、いじめの対象にしないで下さい。悪いのはコロナウイルスですから・・・。小園中学校の生徒は、弱い人を守ることができる人、思いやりを持つことができる人になりましょう。それが人としての良さでもあり、務めだと思えます。・・・これからは新型コロナウイルスと共存していくしかありません。そのことを踏まえて、気を緩めることなく、自分たちができる限りの事をして、みんなで新型コロナウイルス感染予防をしていきましょう。」「新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、テレビで話題になっているアマビエの絵があります。・・・江戸時代に肥後国(現在の熊本県)に現れたとされる半人半魚の妖怪で「病がはやったら私の写し絵を人々に見せよ」と告げたとの言い伝えがあります。日本では、昔からたくさんの人々が疫病で亡くなり、私たちの先人たちはこの謎の病に苦しめられ、またそれを乗り越えてきた歴史がありました。私たちには、その先人たちの知恵が受け継がれています。みなさん、これを機に、自分のまわりの環境を見直して、しっかりと対応できるようにしていきましょう。」

私は、まだまだ気を緩めることなく、ゆっくりと日常生活を取り戻していく必要を感じています。生徒たちが学校、家庭、地域で仲間たちとともに、この新しい生活を、生き生きと楽しんでいけるよう学校と保護者・地域のみなさまと協力していきましょう。どうぞよろしく願いいたします。

【学校という環境だからこそ学べることです】

通常の授業が再開された6月15日から、本校生徒指導主事により、1年生の生徒を対象に、各クラスごとに「中学1年生をより良く過ごすために」をテーマで授業を実施しました。皆、真剣に授業に参加していました。その授業の中で「みんなちがって、みんないい」という言葉がありました。私は、2年前前に小学校に勤務していたとき、図書室で金子みすゞの詩集(JULA 出版局)を読んだ時のことを思い出しました。この詩集の「私と小鳥と鈴と」の詩はよく知られています。「私が両手をひろげても、お空はちっとも飛べないが、飛べる小鳥は私のように、じべたを速くは走れない。私が体をゆすっても、きれいな音はでないけど、あの鳴る鈴は私のように たくさんな唄はしらないよ。鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい。」ここには、みんな誰もが良いところを持っています。お互いの違いを認め合い、尊重しようというメッセージがこめられています。そして、すべての存在を思いやり大切に思う心、自分の周りの小さな(よわい)ものを愛おしく見つめる目(心)があるように感じます。小園中学校の生徒は、そんな、互いを尊重する優しい思いやりのある人になりましょう。人は1人ひとり違い、1人ひとりの個性や考え方があります。学校は、1人ひとりを伸ばしていく場ですが、また、集団で生活する中で、協力し合い、考えを合わせて行動していくことを学ぶ場でもあります。それは、人それぞれの色々な考え方や違いのあることを知り、ともに学び合い、ともに伸びていく場であるということです。生徒たちには、「お互いが持っている良いところを尊重しよう」と伝えていくとともに、「自分には良いところがある」と思うことができる教育をめざしていきます。自己肯定感、自信、思いやり、意欲等を育てる大切な感情です。学校、家庭、地域がいっしょになって子どもたちの良いところを認め、引き出し、努力を励まし、意欲を高め、自己肯定感を高めていきましょう。生徒のみなさんは、学校という環境だからこそできること、お互いが協力して様々な活動に取り組み、自分たちでやり遂げた充実感や、自分の良いところ、お互いの頑張ったところ、良いところをたくさん見つけて、それをおみやげに、それぞれのお家に持ち帰りましょう。



【PTAのみなさま、ご協力ありがとうございます】

学校再開に向け、手のアルコール消毒液等を PTA 役員の方々が、準備してくださりましたことを6月の学校通信でご紹介いたしました。今回さらに、非接触型体温計、アルコール消毒液等をご用意いただき、生徒登校時、授業時の感染予防対策に活用しています。ありがとうございました。



【新しい家庭での生活について】

尼崎市からの生活マニュアルには、家庭生活については次のようにあります。

・免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がける。・早寝、早起き等を心がけ、生活リズムを整える。・外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前、トイレの後など、石けんでの手洗いをこまめに行う。・咳などの症状がある場合は、咳エチケットを心がける。・家庭内で感染を広げないよう、こまめに換気や消毒を行う。・登校園前に、検温と風邪症状の確認をする。発熱(体温が37.5度以上)等風邪症状(咳、息苦しさ、倦怠感、のどの痛み、鼻水、鼻づまり、味覚・嗅覚の異常、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔吐、その他平常と異なる症状)がある場合は、学校園に連絡の上、登校園を控える。・休日を含め、毎日体温と健康状態を健康観察記録表に記入し、登校園の際に学校園に提出する。(尼崎市教育委員会学校園生活マニュアル第3版より)

【令和2年度の夏季休業日と学期等について】

夏季休業日	8月 8日～8月17日	第1学期終業式	9月11日
第2学期始業式	9月14日	終業式	12月25日
第3学期始業式	1月 6日	卒業式	未定(令和2年7月1日現在)
		修了式	3月25日